

特集1

祝 岡谷市消防団統合50周年

今後も地域防災の要として活躍します！

日本の消防団は、江戸時代の義勇消防（町火消）をルーツに地方へと広がり、さまざまな変遷を経て今日に至っています。

制度としては、戦後、全国の市町村に「消防団」が組織され、当地においても、旧岡谷市、長地村、川岸村、湊村それぞれに新たな消防団が誕生しました。

その後、町村合併促進法により、昭和30年に湊と川岸が、32年には長地もと、3村が岡谷に合併したことから、岡谷市消防団は20分団、団員数925名の大所帯となり、肥大化した組織を改革する動きが本格化。時の消防団長、林浩正氏の呼びかけにより、分団の合併、屯所や資機材の調整などが進められ、昭和36年、全11個分団、定員550名の現行組織へのスリム化が完了しました。

今年はこの記念すべき統合結団式から50周年。消防団は、「自分たちのふるさとを自分たちで守る」という互助の精神で、消火、救助、警戒巡視、避難誘導などにボランティアであったり、日頃から訓練を積んで、消防力・防災力の向上のため活動しています。岡谷市消防団統合50周年の式典が行われる今月、この機会に、わたしたちも地域のくらしと安全に目を向け、消防団への理解と協力を深めましょう。



記念事業実行委員長
岡谷市消防団長 林 一郎

平素は消防団活動に対しまして、格別のご理解、ご協力を賜り心から厚くお礼申し上げます。

さて、岡谷市消防団は、昭和36年に一大機構改革により現行の体制となつて、本年度50年の節目を迎えました。また、昭和56年に女性団員3名を含む18名で編成された、岡谷市消防音楽隊も結成以来30年の節目を迎えるにあたり、多くの皆様からのご協力をいただき「岡谷市消防団統合50周年及び消防音楽隊結成30周年記念式典」を挙行する運びとなりました。

これを機に岡谷市消防団および消防音楽隊の輝ける歴史を次代に伝え、更なる発展を目指して精進してまいる所存であります。

今後とも皆様方の変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

岡谷市消防団のあゆみ

- 明治 7年 平野村、湊村、川岸村、長地村が誕生。
- 明治19年 3月 平野村岡谷耕地に組員20人の岡谷消防組（現第3分団）が誕生し、龍吐水の消火器具と揃いの法被が与えられた。
- 昭和11年 4月 岡谷市制施行に伴い、平野消防組が岡谷市消防組に改称。
- 昭和14年 3月 岡谷市消防組が全国12,000の消防組から特に優秀と認められた31組に選ばれ、最高の栄誉である「真紅の表彰旗」の授与を受けた。
- 昭和14年 4月 警防団令公布により岡谷市消防組が岡谷市警防団に組織変更。
- 昭和22年 7月 消防団令公布により、警防団を解散し岡谷市消防団を結成。
- 昭和23年 3月 消防組織法施行により自治体消防として発足、岡谷市消防本部を設置し、消防団常備部を廃止した。これによって、消防団は、消防本部の所轄のもと活動するようになった。
- 昭和30年 1月 岡谷市と湊村が合併。消防団は11個分団、団員538人、消防ポンプ自動車13台、手引動力ポンプ5台に。
- 昭和30年 2月 岡谷市と川岸村が合併。消防団は16個分団、団員793人、消防ポンプ自動車17台、手引動力ポンプ10台に。
- 昭和32年 3月 岡谷市と長地村が合併。消防団は20個分団、団員925人、消防ポンプ自動車18台、手引動力ポンプ13台の大所帯となった。
- 昭和36年 2月** 岡谷市消防団の組織を見直し。編成を20分団から11個分団に改編、分団を合併し名称を変更。定員を925人から550人に減員。消防ポンプ自動車12台、手引動力ポンプ8台、小型動力ポンプ5台。新生岡谷市消防団として5日に結団式を実施。
- 8月 新生消防団11個分団での第1回岡谷市消防ポンプ操法大会。
- 11月 11個分団編成初の秋季演習。
- 昭和42年 7月 副団長を2人から1人に減員し条例改正、定員550人から549人とした。
- 昭和45年10月 第2回全国消防操法大会に第8分団が出場。ポンプ操法で見事準優勝。祝賀パレード盛大に。
- 昭和47年 6月 天竜町の工場火災で、消火作業中の第4分団員の松沢勝さんが殉職。
- 昭和55年10月 第7回全国消防操法大会に第8分団が出場し、小型ポンプの部で再び準優勝。
- 昭和56年 9月 岡谷市消防音楽隊結成。女性団員3名・署員3名を含む18名の編成。県下初の女性消防団員誕生（第4分団）。
- 昭和57年 1月 「岡谷市消防団綱領」を制定。
- 昭和57年10月 第8回全国操法大会へ第8分団出場。自動車ポンプの部入賞で優良賞受賞。
- 昭和58年 1月 「岡谷市消防団歌」制定。
- 昭和61年 2月 岡谷市消防団が全国3,700消防団のなかから、最高の特別表彰10団体のひとつに選ばれ、日本消防協会から「金まとい」の授与を受ける。
- 平成18年 7月 「平成18年7月豪雨」により、市内で同時多発的に土石流が発生し、湊小田井沢川で7名、川岸志平川で1名が死亡。小田井沢川付近で水防活動をしていた第7分団員の小坂陽司さん殉職。
- 平成20年 3月 自治体消防制度60周年。団旗を新調する。
- 平成23年 8月** 7日(日)カノラホール大ホールにて岡谷市消防団統合50周年記念式典



明治27年 平野消防組間下部



昭和32年 祝合併の市中行進



昭和36年 結団式



昭和45年 祝賀パレード



昭和56年 音楽隊結成



女性団員誕生



昭和61年 金まとい授与

50周年に寄せて



第11分団 高宮 翔さん

学生時代に一時、岡谷を離れましたが、地元が好きで迷わずUターン。ただ考えてみたら、近隣に友だちや知っている人があまりいなかったんですね。以前は市内の別の地区に住んでいましたから。

そういう意味でも、消防団が地域デビューの場になりました。初めて出動した火事の日が、自分の誕生日だった時には、これはもう、やるしかないか!と(笑)。

操法の練習の早起きは、つらくないといえば嘘ですが、チームですから、自分が抜けるわけにはいきません。いい仲間めぐり会えたこと、みんなでわいわい楽しくできることが財産。たまたま賞もいただきましたが、自分としては、成績より過程がだいじと思っています。仲間を大切にこれからもやっていきたいです。



ポンプ操法大会にて



元 岡谷市消防団長 林 義郎さん

分団長時代、そして団長を仰せつかった時もそうですが、「人助けのお役に立てれば」の一心で務めさせてもらいました。教えてもらうことが多く、団員のみなさんに何かとお世話になりました。

平成11年4月から19年の3月までの団長任期中のできごとは、それ以前の副団長時代とはまるで違う責任の重さとともに鮮やかに覚えています。法被を着ると、ふしぎと気持ちが引き締め「よしっ!」と、目の前の事態に立ち向かえましたね。当時は必死で先頭を走っていましたが、今になって、災害の恐さや、また団長という立場の難しさをあらためて感じたりしています。若いみなさんには、これからも岡谷消防団の伝統と誇りを胸に、仲間と協力しがんばってほしいと思います。



団長時代の林さん



岡谷市消防団本部音楽隊長 花岡 政博さん

大学を卒業し地元に戻ったタイミングで、消防音楽隊に入りました。吹奏楽とは中学以来のつきあいです。女性隊員が多いこともあり、家庭や仕事を持つなかで、合同の練習時間を調整するのは

大変ですが、息がぴったり合った演奏ができた時の心地よさ、また、保育園への訪問などがみんなの励みになっています。

今年は「音楽隊結成30周年」にも当たっていて、消防団統合50周年の式典で記念演奏を行います。それが終わると県の合同演奏会に向けての練習。秋の火災予防運動のふれあいコンサートも行います。消防を身近に感じてもらえるよう、音楽を通じての広報活動をしながら、自分自身もまた音楽とそして交流を楽しんでいきたいと思っています。



防火ふれあいコンサートにて



第8分団 両角ひとみさん

「朝早いのが苦手です」「お酒はあまり飲めません」「子どもがいて…」勧誘をなんとかお断りしたくて、ムリです、ダメです、といていたんですが、「大丈夫です!」「なんとかなります」に押し切られ、

渋々入団。ラッパの音は出ないし、朝練も、操法も、なんだかわからないまま。火事場に行くこともほとんどなく、男性中心の分団ということもあって、屯所の留守番に甘んじていたんですが、気づいたら、年代だけは上の方になっていて、なんと今年は班長という立場。庶務や会計といった仕事も増え、ますます屯所の番人と化していますが、これだけはいえます。消防団員でよかったと思っています。楽しいんです。自分にできる範囲のことを、これからもやっていきたいです。



屯所で仲間と

消防団員募集



消防団の原動力は「郷土愛」。地域の安全・安心は、地元の事情に明るい消防団によって保たれているといっても過言ではありません。近年は、女性消防団員も増加し、高齢者宅への防火訪問、応急手当の普及などに幅広くきめ細やかな対応がなされ、その活躍にも、ますます期待が集まっています。

消防団は地域に溶け込む入口。仲間作り、地域貢献、健康増進などなど、いろいろなメリットがあります。ひとりではできないことが、みんなとならできる、そんな達成感も魅力です。音楽の好きな人、楽器を演奏してみたい人にも、活躍の場があります。

自分たちのまちを自分たちの手で守る消防団に、あなたも参加してみませんか。

岡谷市消防団統合50周年・ 消防音楽隊結成30周年 記念事業

8月7日(日)

カノラホール大ホールにて記念式典

各分団の団旗披露（50周年を記念して初めて製作）、OB表彰、音楽隊結成30周年記念演奏、前宮崎県知事 東国原英夫氏による記念講演会ほかを実施

どんな活動をしているの？ 消防団活動カレンダー

4月	新年度、新体制スタート 訓練や講習がいろいろ	ポンプ操法指導 会～研修、全国 大会をめざして 朝練習	ラッパ訓練 (月3回以上) 音楽隊訓練 (月4回以上)
5月			
6月	ポンプ操法とラッパ吹奏 岡谷大会		
7月	ポンプ操法とラッパ吹奏 諏訪郡と県の大会		
8月	太鼓祭りの警備 盆の警戒		
9月	市防災訓練		
10月	ポンプ操法 全国大会 音楽隊交流演奏会		
11月	秋の火災予防運動		
12月	年末警戒		
1月	消防出初め式		
2月			
3月	春の火災予防運動		

めざすは地域の防災・減災！ 地道な定期活動

消防団会議、防火点検日、予防広報活動、自主防災組織の育成指導、地水利調査 ほか

問合せ●岡谷消防署 ☎22-0119

9月9日は救急の日



救急医療および救急業務に対する正しい理解と認識を深めることなどを目的に、毎年9月9日が「救急の日」、救急の日を含む1週間(日曜日から土曜日)が「救急医療週間」と定められています。



**救急車は、ケガや急病などで緊急に
病院に搬送しなければならない人のものです！**

●こんな誤った使い方をしてませんか

「救急車を使えば優先的に診察してもらえる」 **×**

「救急車は無料だから」 **×**

●もう一度考えてみてください

出動件数…1,815件
28人に1人が利用 1日平均4.9件

半数が緊急性の
ない「軽症者」

※平成22年度中の岡谷消防救急出動件数に関する内容

誤った理由で救急車を利用すると、本当に救急車が必要な人への対応が遅れ、救える命が救えなくなる可能性があります。

みなさんのご理解とご協力をお願いします。

応急手当を覚えましょう！

病気やケガ、事故などは、時間や場所を選ばず、ある日突然襲ってきます。このようなとき、病院に行くまでの応急手当を十分に行えることがその後の病気やケガの経過を左右します。いざという時に対応するために、冷静な観察と判断、そして正しい応急手当を身につけておきましょう。岡谷消防署では、心肺蘇生法、けがの手当を習得してもらうため市民や事業所などを対象とした応急手当の講習会を行っています。



問合せ●岡谷消防署 ☎22-0119